

野洲図書館のホームページはこちら→→



今号の内容は・・・

- ★表紙の1冊
- ★見習い司書のオススメ
- ★司書のオススメ
- ★新しく入った本

表紙の1冊

砂漠こそ生きる道

『バッタを倒すぜアフリカで』

前野 ウルド 浩太郎／著 光文社 (光文社新書)

486.45



著者の前野さんはバッタ博士。アフリカで研究を始めてはや13年になる。バッタが好きで研究者になったが、サハラ砂漠で焼かれても、バッタに触りすぎてバッタアレルギーになっても、潰れるほど抱きしめたいくらいに、今でもバッタが大好きだ。

バッタが大好きでありながら、現地で暮らす人たちのためにバッタを倒す研究もする。バッタのことなら何でも知りたいというパッションがあれば、この程度の矛盾なら飲み込んでしまえるらしい。化学がさっぱりで、ローテクしか使えない呪いをかけられている前野さんにとって、物資や設備が制限されたサハラ砂漠こそ、自分が輝ける場所なのだ。裸眼で2.0という視力を駆使して、世界トップのレベル(自称)で砂漠に散らばるバッタたちのオス・メスを判別まくる!

こんなふうに分かる自分の能力を思い切り使えたら、気持ちがいいだろうなあ。(ち)

見習い司書のオススメ

職場体験に来てくれた
中主中学校のみなさんの
おすすめの本です♪

『都会(まち)のトム&ソーヤ 1』

はやみね かおる／著 講談社 **K913/ハヤ**



「普通の中学生」内藤内人は、塾の帰り道同級生の竜王創也を見かける。追いかけたはずが、彼は消えてしまう。後日創也に尋ねたところ、「ぼくが消えたと思ってる場所を、もう一度さがしてごらん。」という言葉とともに鍵を渡される。その場所へ行くと、ビルとビルの間に狭い路地を見つけた。その路地が彼を大冒険へといざなうこととなる。

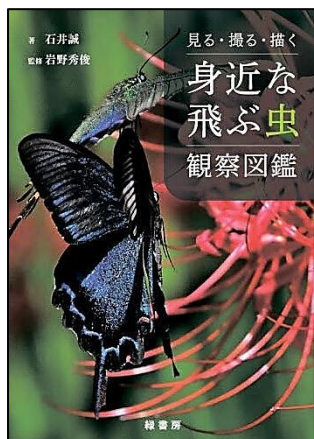
◆主人公の内人と創也。塾通いに追われる内人は、ピンチをチャンスに変えるサバイバー。創也は学年一の天才と言われ、究極のゲームを作ることが夢(ちょっと抜けているところも)。でこぼこな二人だけど、創也のあっと驚く推理や、内人のワクワクするようなサバイバルの知識でいつもピンチを切りぬけてくる。平凡な日常だって、見方を変えれば大冒険の予感がしてくる、そんなシリーズです。(ラムネ)

『暗いところで待ち合わせ』

乙一／著 幻冬舎(幻冬舎文庫) **B913.6/乙**

視力を失い、独り静かに暮らす本間ミチル。職場の人間関係に悩む大石アキヒロ。駅のホームで起きた事件が、そんな二人を引き寄せることに。殺人犯として追われるアキヒロは、駅に近いミチルの家へと逃げ込み、居間の片隅に身を隠す。人の気配に怯えるミチルは、身を守るため知らない振りをするよう決める。だがやがて二人は互いの存在を受け入れ始め一。

◆まず、この本ですごいのは p. 46 の部分です。このページの半分くらいが点々になっていて、文章も途切れているのです。この仕掛けが、物語の結末に大きく関わってきます。また作品を通じて、目が見えない人が感じている不安感や、喪失感が感じとれます。最初から最後まで暗い話ですが、最後には小さな希望が感じられます。表紙の怖さにとらわれず、ぜひ読んでみてください。(キケ)



『見る・撮る・描く 身近な飛ぶ虫観察図鑑』

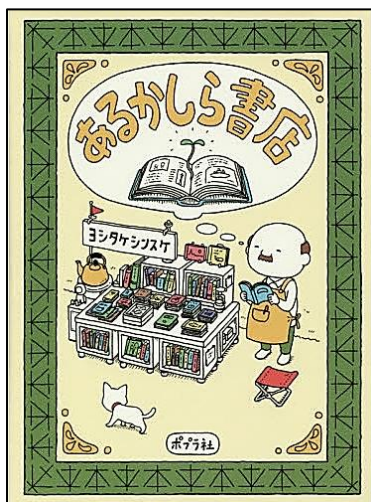
石井 誠／著 緑書房 **486**

身近でよく見る、飛ぶ虫たちを、見る・撮る・描くの3つの視点から、おもしろく美しく伝えてくれる1冊。

◆全ページフルカラーで見やすく、思わず見とれてしまうような身近な虫たちの写真。読めばすぐに外に行ってみたくなります。特におもしろいのは、チョウの幼虫と成虫で、色あいや姿、食べ物ですら全く違うのです。これを読んで虫たちをもっと身近に感じました。(T・S)

『あるかしら書店』

ヨシタケ シンスケノ作 ポプラ社 726.6



その町のはずれの一角に「あるかしら書店」があります。このお店は、「本にまつわる本」の専門店。店のおじさんに「〇〇についての本ってあるかしら？」と聞くと、「ありますよ！」と言って奥から出してきてくれます。今日もあるかしら書店には、いろいろな本を探しにお客さんがやってきます。

◆『りんごかもしれない』などの絵本で有名なヨシタケシンスケさんのイラストがたくさん詰まった本です。私が特に気になったのは「本にまつわる道具」編の「カバー変更器」です。通すとカバーだけ、頭がよさそうなタイトルとデザインに変えてくれるというもの。他にもありそうで、無いような本たちをたくさん紹介してくれます。(K)

『シャーロットはただ、事件を解きたい。-探偵はもう、死んでいる。Code:RED-』

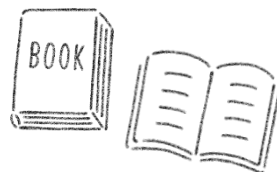
ひなちほこノ著、二語十ノ原作・監修 KADOKAWA(MF 文庫) B913.6/ニ

あらゆる銃器兵器を操るエージェント、シャーロットは、戦闘機械の腕前は確かだが、推理は苦手。ある日彼女は、魔術の知識を持つ現代の魔女、シャルネリアと出会う。憧れの名探偵の死後、「もう絶対に、誰とも仲間にならない」と決めていたシャーロットだが、同じ愛称を持ち、弱点を補い合えるシャルネリアと手を組むことに。数ある難事件に挑んでいく、『探偵はもう、死んでいる。』スピンオフ！

◆シャーロットは美人で可愛い見た目なのに、戦闘シーンがすごくかっこいいです。「たんもし」を読んだことのある方ならわかるであろう、シエスタとシャルの関係性が個人的に好きです。(A)



司書のオススメ Recommendation



十万文字分の想い

『恋する少女にささやく愛は、
みそひともじだけあればいい』

畑野 ライ麦ノ著 SBクリエイティブ (GA文庫) B913.6/ハ7



高校生の三球(サンタ)は救(スクイ)と出会い、短歌を教えてもらうことに。日々成長し隠された想いを吐露するサンタにスクイは好意を抱きはじめ、サンタの歌に応えるかのように短歌に想いを込め距離を縮めていき…。三十一文字をきかけに紡がれる、恋に憧れる少女との甘い青春を綴った恋物語。

◆「読んだ人がきゅんとしてしまうような恋の歌」を作ることをサンタに課すスクイ。そんな恥ずかしい歌を毎日のように詠み続けなければならないサンタに同情しつつも、切ない気持ちを短歌に込めた二人きりの歌会にきゅんきゅんしっぱなしです！！キャラの濃すぎる登場人物たちからも目が離せません。(る)

NEW ARRIVAL

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル	著者	出版社
地べたから考える	ブレイディみかこ／著	筑摩書房
総合・推薦入試面接で逆転合格	和田 圭史／著	Gakken
古生物がもっと知りたくなる化石の話	木村 由莉／著	岩波書店
俳優になるには	山本 健翔／著	ペリかん社
花屋さんになるには	戸田 恭子／著	ペリかん社
小・中学生のための女子アスリートの「食事と栄養」	上木 明子／監修	メイツユニバーサルコンテンツ
在日サッカー、国境を越える	木村 元彦／著	筑摩書房
人生が変わるゲームのつくりかた	米光 一成／著	筑摩書房
13歳からのディベートスキル	名和田 竜／著	メイツユニバーサルコンテンツ
介護の花子さん	あさば みゆき／著	Gakken
本好きの下剋上 ハンネローレの貴族院5年生1	香月 美夜／著	T0 ブックス
もしもわたしがあの子なら	こと さわみ／作	ポプラ社
いのちのつぼみ	志津谷 元子／著	偕成社
夢でみた庭	長崎 夏海／著	講談社
短物語	西尾 維新／著	講談社
砂漠の旅ガラス	長谷川 まりる／作・絵	小学館
少年名探偵虹北恭助の冒険	はやみね かおる／著	星海社
宇宙に花火を。	松井 尚斗／著	KADOKAWA
王様のキャリー	まひる／著	講談社
かなたの if	村上 雅郁／作	フレーベル館
あいだのわたし	ユリア・ラビノヴィチ／作	岩波書店
5分後に泣き笑いのラスト	エブリスタ／編	河出書房新社
5分後に不気味なラスト	エブリスタ／編	河出書房新社
ティアムーン帝国物語 16	餅月 望／著	T0 ブックス
「死んでみる」と言われたので死にました。3	江東 しろ／著	KADOKAWA
お隣の天使様にいつの間にか駄目人間にされていた件 10	佐伯さん／著	SBクリエイティブ
ほうかごがかり 1	甲田 学人／著	KADOKAWA
創約とある魔術の禁書目録 11	鎌池 和馬／著	KADOKAWA
夜の帳に闇は閃く 2	佐島 勤／著	KADOKAWA
りゅうおうのおしごと! 盤外編 2	白鳥 士郎／著	SBクリエイティブ
Re:ゼロから始める異世界生活 38	長月 達平／著	KADOKAWA
千歳くんはラムネ瓶のなか 9	裕夢／著	小学館
メイドア転生物語 7	友麻 碧／著	KADOKAWA
魔女に首輪は付けられない 2	夢見 夕利／著	KADOKAWA
夏目漱石ファンタジア 2	零余子／著	KADOKAWA

編集後記：◆前野さんの前日譚『バッタを倒しにアフリカへ』もおもしろいです。(ち) ◆健康診断に行きました。私はレントゲン待ち。隣の列の人は何待ってるのかな～??先にあるのは内視鏡室…いい胃カメラ!!そんなラーメン屋の開店を待っているかのように、平然と!!胃カメラへの恐怖が半端ない私は尊敬の眼差しを向けてしまいました。(ざ) ◆家族が次々とたちの悪い風邪にかかりました。私は鈍いのか強いのか、元気いっぱい生き残っています。手洗いうがい大事!(る) ◆今回のやすど!は職場体験に来てくれた中主中学校のみなさんと一緒に発行しました♪ありがとう!